

2 住まいや飼育場所の安全を確保しましょう

住まいを強くしておくことが、一緒に住んでいるペットの安全にもつながります。災害に備えて、家具の固定や窓ガラスの飛散防止などの対策をとりましょう。

■ 家の中で飼っている場合

● 地震に備えて

- ・動物が普段いる場所は、家具やケージが倒れたり落下したりしないようしっかり固定し、窓ガラスが割れて飛散しないようフィルムを貼るなどの対策をしましょう。
- ・水槽などで動物を飼っている場合は、台に固定し、ガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策をしましょう。

■ 外で飼っている場合

● 地震に備えて

- ・犬小屋などの飼育場所は、破損しやすいブロック塀やガラス窓の下、倒れやすいもののそばは避けましょう。
- ・動物が大きな揺れに驚いて逃げ出すことがあるので、首輪や鎖が外れたり切れたりしないか、ケージや囲いに隙間がないか、定期的に点検しましょう。



● 浸水害・土砂災害

- ・強風のおそれがある場合は、飛来物で動物が怪我をしないよう、飼育場所を考えましょう。
- ・雨水が流れ込んで浸水しないよう、飼育場所は低いところを避けるとともに、土のうなどを準備できるようにしておきましょう。

飼育できる数を考えて飼いましょう

ペットを連れて避難できるか、一緒に避難生活を送ることができるか、飼育できる数をよく考えて飼うようにしましょう。

多くのペットを飼っていて同行避難ができない場合は、飼う数を減らすことを検討するとともに、住まいを災害に強くしておきましょう。